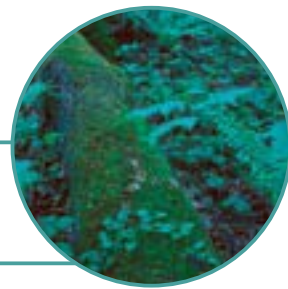


## CSRマネジメント



2007年8月、経営理念をCSRの観点から具体化し、10年後のあるべき姿を描いた「CSR長期ビジョン」を策定しました。

### CSR要綱

当社では2004年4月にCSR推進部を設置し、2005年4月にCSR経営を推進する上でのよりどころとして「CSR要綱」を制定しました。要綱では、当社がCSR経

営を進める目的と基本方針とともに当面の重点課題と推進体制を定めています。

### CSR経営 当面の重点課題

- コンプライアンスの徹底
- リスクマネジメントの強化
- 地球環境保全活動の推進、環境経営の促進
- 品質保証体制の再構築、顧客満足度向上
- コミュニケーションの促進 (WBCSDセメント産業部会活動ほか)

### CSR経営の推進体制

CSR経営を推進する体制として、2005年4月に取締役会直属で部門横断的に構成されるCSR経営委員会を設置しました。CSR経営委員会は、社長を委員長として全取締役がメンバーとなり、全社CSR実施計画等の重要事項の審議と実施状況のレビューを役割としています。

CSR経営委員会の傘下には10の専門委員会があります。各専門委員会は担当役員が委員長を務め、最も関連の強い部署が事務局となっています。各委員会ともテーマごとの方針を実現するための委員会ミッションを明確にした上で、年間活動計画を策定して活動を推進しています。(P.12-13参照)

### CSR長期ビジョン

当社のCSR経営は経営理念を具現化することですが、現状では経営理念が従業員一人ひとりに浸透しているとはいえません。そこで、CSR経営委員会および傘下の専門委員会の事務局メンバーが集まり、経営理念をCSRの観点から具体化し10年後のあるべき姿を描こうと検討しました。国際的な各種CSRガイドラインに照らして当社のCSRの現状課題を棚卸しする一方、当社グループの事業における強み・弱み・機会・脅威をCSRの観点で分析しました。それらを踏まえて、当社グループらしさを表すキーワードを抽出しました。出来上がった素案を2007年2月に従業員に提示したところ、400件を超える意見・要望が寄せられ、これらを反映して「CSR長期ビジョン」をまとめ

ました。

当社グループを一軒の家に見立てると、「宣言」という看板と、「重点領域」として家を支える土台と3つの柱からなります。(P.5参照)

